

現在きている学校説明会⑦

公立高校

学校名	日 時	内 容	予約方法	締切
市川工業高校	8月 1日(金) 第1回 9:00 第2回 13:00 8月22日(金) 第1回 9:00 第2回 13:00	体験入学 ----- 体験説明会	HPからWeb予約	
薬園台高校	7月25日(金)	学校説明動画配信	HPから見る。 予約不要。 申し込み用紙の提出不要	
薬園台高校 (園芸科)	8月 1日(金) 8月28日(木) 8:30受付	体験入学	HPからWeb予約	それぞれ2日前
印旛明誠高校	8月 8日(金) 9:00受付	学校説明会	HPから Web予約	

私立高校

学校名	日 時	内 容	予約方法	締切
成田高校	8月 1日 (金) 8月20日 (水) 11月 1日 (土)	学校説明会	HPから Web予約	
敬愛大学八日市場 高校高校 (通信制)	7月24日 (木) 7月25日 (金) 8月17日 (日) 9:00	入試個別相談会	HPから Web予約	各日にちの2日 前
千葉経済大学 附属高校	7月22日 (火) ～ 8月26日 (火) 9:00 10:00 11:00 12:00	学校見学会	HPから Web予約	
	7月27日 (日) 8月17日 (日) 8月24日 (日) 8:30	オープンキャンパス	HPから Web予約	
	10月25日 (土) 11月 2日 (日) 11月 8日 (土) 11月22日 (土) 8:45	入試説明会	HPから Web予約	
敬愛学園高校	7月24日 (木) 8月17日 (日) 8月24日 (日) 9月20日 (土) 10月11日 (土) 10月25日 (土) 11月 1日 (土) 11月22日 (土) 9:00 11:00	学校説明会	HPから Web予約	

選抜の基準となる結果及び資料

- 調査書中の1, 2, 3学年の合計評定値(9教科5段階, 各学年45点, 計135点満点)を次の算式で求めた数値

$$\left(\text{算式} = \frac{\text{個人評定合計値} + \text{県標準値}(95)}{2} - \text{各中学校の評定の平均値} \right)$$
- 学力検査の得点(原則5教科各100点, 500点満点)

(1) 次の①～③までの条件を満たすものを「A組」とし, 入学許可候補者

(=合格者)となりま

す。
 ① 調査書中の全学年における評定合計(上の算式で求めた数値)によって
 順位をつけたとき, 募集人員の80%以内にあること。(ただし, 受検者
 い場合には, 受検者の80%以内)

が募集人員に満たな

② 学力検査の得点合計によって順位をつけたとき,
 募集人員の80%以内にあること。(ただし, 受検者が
 募集人員を満たしていない場合は, 受検者の80%以内)

③ 調査書中の記載内容, 学力検査の個々の教科の得点,
 実施した検査の結果等に, 特に問題がないこと

(2) 「A組」に属さないものを「B組」とし, 次の算式によって求めた数
 事項及び第2日に実施した検査の結果を基にして総
 合的に判断します。

値, 調査書中の記載

$$\text{学力検査の5教科の合計} + (\text{上の算式で求められた値}) \times K$$

$$K \cdots \text{各高校が定める1以上の数値}(21\text{年度の最大値は}5)$$

例 ○×高校 $K=1$ のとき

A君(学力検査=346点, 算式で求めた調査書評定=81(3年間オール3相当))

B君(学力検査=326点, 算式で求めた調査書評定=108(3年間オール4相当))

で, A君の総得点=346+81×1=427

B君の総得点=326+108×1=434

③ 全日制, 定時制二次募集, 通信制三期

入学願書・誓約書の提出	3月10日(木), 11日(金)正午	中学校長を経て志願する 高等学校長へ
志願変更	3月14日(月),	1回のみ
検査等の期日	3月16日(水)	志願する高等学校で
入学許可候補者の発表	3月18日(金) 10時	志願した高等学校で

B. 私立高等学校

〈特色〉

- ・建学の精神に基づく学校独自の教育がなされている。
- ・一貫教育, 宗教教育等
- ・施設・設備が充実。(施設費などを徴収している。)
- ・全国どこからでも受験可能

〈入試要項〉

	推薦入試(前期入試)	一般入試(後期入試)
出 願	1月6日頃から	1月20日前後から
試 験 日	1月16, 17日頃	2月25日前後
合格発表	2, 3日後	2, 3日後
選抜方法	作文, 面接又は学科試験 (各校により異なる) 単願(専願)は推薦書, 調査書, 面接などで決定	学科試験(国数英が多い) 面接有の学校が多い
入学金, 施設費 延納金など	単願, 専願の場合は一括全額 納入(およそ15万円~50万 円)	併願の場合は延納金を5万 円程納める(詳細は各校に より異なる)

※用語解説

単願(専願) … その高校を第一志望とし, 合格したら必ずその学校に入学手続
 きをとる。

併願校 … 第二志望以下の高校

入試相談(事前相談) … 12月中に中学校と私立高校の先生が受験に関する相談
 を行う。その中で可否の可能性を判断してもらう。

資料として次のものを使用することが多い。

1. 1学期及び2学期の成績(2年次や1年次も基準とする学校もある)
2. 欠席日数, 遅刻, 早退の回数
3. 単願(専願)か併願(前期または後期受験)か。
4. 部活動や生徒会活動, 校外における諸活動で優れた実績があるか。

※私立高校の特別な制度(特に単願, 専願, 推薦)を希望される場合は, 担任の教師とよく相談をし, 1.1月の三者面談には志望校が決定できるよう, お願いいたします。

※公立高校の授業料全額免除に伴い, 私立高校でも授業料減免制度が取り入れられます。県から各高等学校に授業料支援金が支給され, 生徒に分配される形になります。学校によって免除金が異なりますが, 月額一人あたり一万円程度の補助金が出されるようです。

その他、

- 1号 生活保護を受給されている方
- 2号 市町村民税が非課税である方
- 3号 市町村民税の所得が非課税である方
- 4号 所得税が非課税である方
- 5号 住宅等の建物、土地、家財等に災害を受けた方
- 6号 上記2～4号に準ずる程度に困窮していると認められた方
(家計急変の方を含む)

は、授業料減免制度の対象となります。

上記1号・2号に該当→授業料の全額を免除

上記3号～6号に該当→授業料の3分の2の額を免除

C. 国立工業高専, 海上技術学校等

深く専門教育を行い, 各分野の中堅技術者の育成を目指している。

木更津工業高等専門学校 (男女共学)

1. 学科(募集定員 各学科とも40名)
機械工学, 電気電子工学, 電子制御工学, 情報工学,
環境都市工学
2. 修業期間……………5年間
3. 推薦入学制度がある(定員の2割)。
4. 卒業後, 国立大学の3年次への編入試験を受けて2割の生徒が進学している。

国立館山海上技術学校(独立行政法人)

海や舟に憧れ, 将来船員として活躍したい人に専門教育を行い,
わが国の優秀な海上技術者を育成することが目的。

D. 専修学校, 各種学校

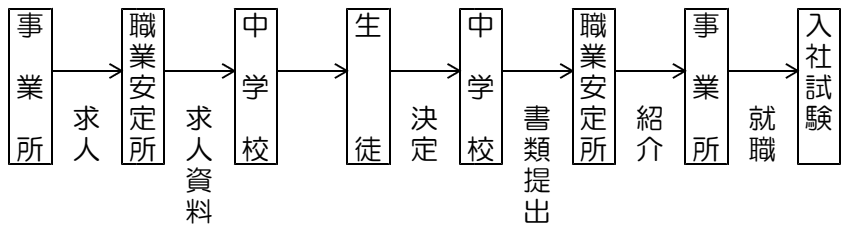
1. 調理・服飾などへの進学例が多い。
2. 期間……………6カ月間～4年間
3. 資格に直結しているものが多い
4. 定時制・通信制高校への通学も可能。(高校卒の資格がとれる。)
5. 入試……………11月頃から, 試験科目(筆記, 面接, 作文)

4. 就 職

就職希望者について

就職を希望する場合は, その旨を学校に申し出て下さい。学校では, 応募書類に必要な事項を記入し, 公共の職業安定所を通して決めていく窓口になります。また親戚の会社への就職希望の場合は, 各家庭で取り決めていく事になります。

現在, 中卒の就職は就職難であり, 求人もほとんどないという状況にあります。



平成22年度 進路年間スケジュール

	主 な 行 事	進 路 行 事	進 路 事 務
6	・1回定期試験18,19 ・神輿集会, バザー27	・実力テスト①9 ・進路保護者説明会12	・第1回進路希望調査26
7	・部活動壮行会 ・終業式16 ・中志津まつり ・上志津原盆踊り	・三者面談① 6/31~7/3 ・夏休みに向けて	・高校訪問, 職場訪問 ・体験入学
8	・始業式31	・高校説明会参加 (夏季休業中)	・高校訪問, 職場訪問 ・体験入学
9	・体育祭5 ・教育相談8~11 ・生徒会役員選挙24	・第2回進路説明会18 ・実力テスト②25	・第2回進路希望調査30
10	・第2回定期試験1,2 ・文化発表会14 ・文化祭りレー ・校内授業研	・実力テスト③16 ・高校説明会	・第3回進路希望調査26
11	・ミニ集会, 授業参観14 ・第3回定期試験24,25	・進路指導委員会2 ・三者面談Ⅱ4~10 ・校内面接指導開始	・私立受験校最終決定 ・成績打ち出し
12	・校内駅伝ロードレース大会11 ・期末保護者会21 ・終業式22 ・冬季休業	・進路指導委員会4 ・三者面談Ⅲ7~10 ・願書, 志願理由書 下書き作成 ・私立入試相談15~	・受験校最終確認 ・私立入試相談資料作成 ・調査書作成 ・私立出願書類等とりまとめ
1	・始業式7 ・教育相談12~15	・実力テスト④8 ・三者面談(希望者) ・私立高前期試験 ・私立後期試験 ・公立高特色出願29	・願書作成 ・私立出願書類等とりまとめ ・私立高受験者名簿作成 ・公立特色化出願書類とりまとめ
2	・標準学力検査 ・新入生保護者説明会 ・小学生体験入学	・公立高特色入試5 ・公立高特色発表12 ・公立高一般出願18 ・公立高学校検25,26	・公立高一般入試出願書類とりまとめ ・公立高受検者名簿作成
3	・予餞会3 ・卒業式12	・公立高校入学許可候補者発表4	・指導要録作成・送付

※日程は都合により変更することがあります。

☆受験パターンのいろいろ

ア. 第1志望が公立高校前期選抜の場合

どの高校のどの学科においても、倍率の高いものです。もし、合格できなかつたならば、もう1度後期選抜で同じ高校にチャレンジできます。しかし、その場合大きなショックを受け、なかなか立ち直れず、その後の勉強が手につきにくくなることがあります。もちろん志望校を変えて後期選抜にのぞむこともできますが、自分の性格をよく考えて、志望校を選び、受験しましょう。

イ. 第1志望が公立高校後期選抜の場合
公立の後期選抜だけを受験する生徒は少ないと思われます。他の生徒に比べ、受験まで時間があるので、それまで周囲に惑わされず、いかに精神的に落ち着いて過ごせるかが大事です。

※ア、イのどちらの場合でも、私立高校を併願することをご検討ください。

ウ. 私立高校が第1志望の場合
1) 単願推薦の基準は、併願推薦や一般入試の基準より低く設定されています。また、推薦制度が無い学校でも、第1希望の受験者は併願者より有利な場合があります。その学校が入試相談を行う場合は、第1志望であることはかなり優遇されます。

2) 「特待生制度」がある学校では、授業料免除などの特典があります。要項をよく確認しましょう。

3) 公立高校を第2志望以下として受験することもできますが、公立高校より志望順位の高い高校が合格した時点で、公立高校の志願は取り下げることになります。

4) 入試相談をしない学校を第1志望で受ける場合は、当日の入試の結果次第で合否が決まるので、より併願校をしっかりと考える必要があります。併願校は公立後期試験と私立一般の2通りが考えられます。その際、第1志望よりも合格の可能性の高い高校を受験することをおすすめします。

エ. 志望順位をよく考えて
一般的に入試相談にかけるのは第1志望か第2志望ですが、第3志望以下でも相談のある場合があります。ただし、基準は高くなります。
また、公立高校が第1志望で、私立高校を併願した場合、公立の発表まで入学の手続きを待ってもらうため、延納金を納める学校が多々あります(5万円程度)。

オ. その他の諸注意
1) 入試相談にかけない場合は、11月の三者面談で確認します。その際、私立高校側が出している基準に達しているかどうか問われます。基準は3年生1学期、2学期の成績(3科、5科、9科)が用いられます。2学期の成績が出るのは11月末です。基準に達しない場合は、受験自体が難しくなるので受験校の変更を考える必要も出てきます。基準に達した場合でも、100%の合格が約束されているわけではないので、気を抜かず勉強に励んでください。

2) 私立高校における推薦は、学校長推薦と自己推薦があります。学校長推薦は、本人の適性(学力、生活態度など)をよく検討して決定します。

3) 入試相談にかけた場合、良い返事をいただけた後、入学願書の出願手続きをしないということがないようにお願いします。

資

料 編

目次 及び 本日の流れ

挨拶

◎ 学校長

1 学年主

任から、進路指導について

2 進路決定にあたって

3 上級学校の種類と選抜方法

- ・公立高等学校
- ・私立高等学校
- ・専修学校等
- ・就職について

4 受験パターンのいろいろ

5 平成23年度公立高等学校
入学選抜方法の変更点について

6 今後の進路予定

7 保護者の皆さんへお願い、諸連絡